

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和2年11月6日
四国森林管理局

目 次

I	管内における主な原木市場・共販所の状況	
1	県別丸太価格の推移	1
2	県別丸太取扱量の推移	6
II	管内における製材用素材の状況	
1	製材用素材入荷量の推移	9
2	製材用素材在庫量の推移	10
III	全国の丸太価格の動向	11
IV	国産材丸太の需給見通し	13
V	新設住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	14
2	新設住宅着工戸数2020年度・2021年度の見通し	15

管内における主な原木市場・共販所の状況

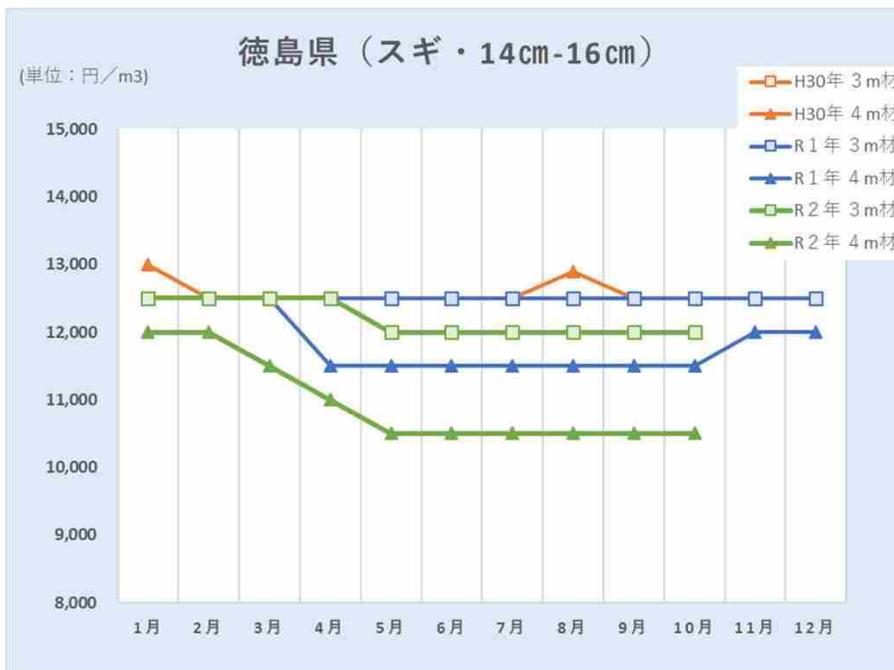
1-(1) 徳島県内のスギ丸太価格の推移

- 協定による取引が多く、例年相場はほぼ安定
- 本年は4～5月に下落（特に4m材の下落が大）、その後も弱保合が続く
- 最近は、価格に変動はないが買方の引き合いは良い
- 本年10月のスギ丸太価格は、対前年比0%から14%の下落

○10月のスギ丸太価格

(単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和1年	12,500	11,500	12,000	15,350
令和2年	12,000	10,500	12,000	13,200
対前年比	▲500 96%	▲1,000 91%	0 100%	▲2,150 86%



管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(2) 愛媛県内のスギ丸太価格の推移

- 例年8月頃からは季節的な需要の高まりから価格が上昇傾向
- 本年は4～5月に大幅な下落となったが、8月頃からは回復傾向にあり、例年と類似した傾向で推移
- 最近、4mを中心に原木需要の高まりから引き合いが良い
- 本年10月のスギ丸太価格は、対前年比4%から14%の下落

○10月のスギ丸太価格

(単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和1年	12,783	11,820	13,867	13,220
令和2年	11,505	10,583	11,867	12,667
対前年比	▲ 1,278	▲ 1,237	▲ 2,000	▲ 553
	90%	90%	86%	96%



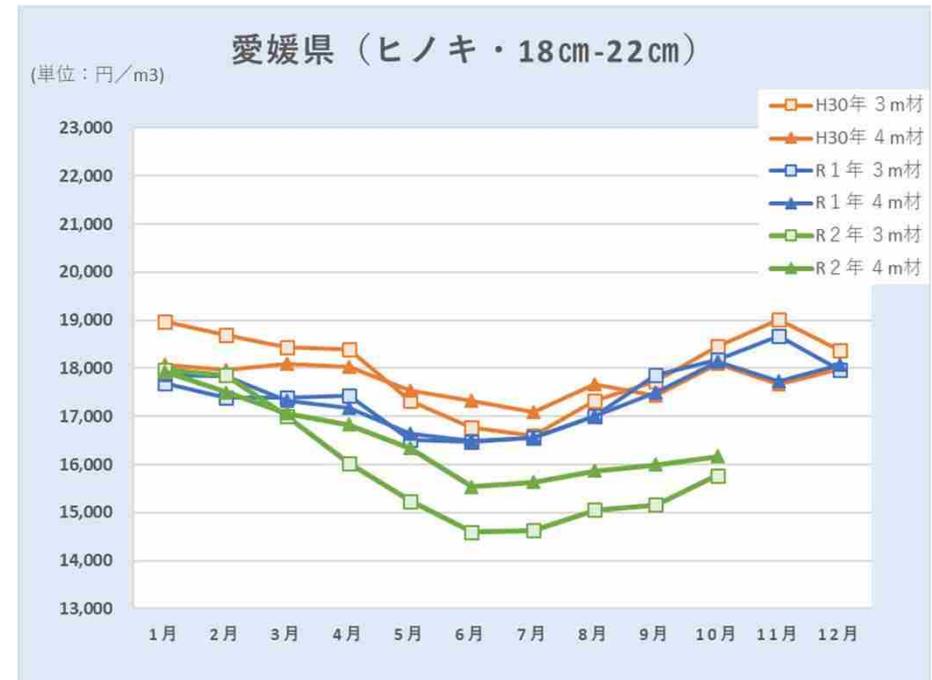
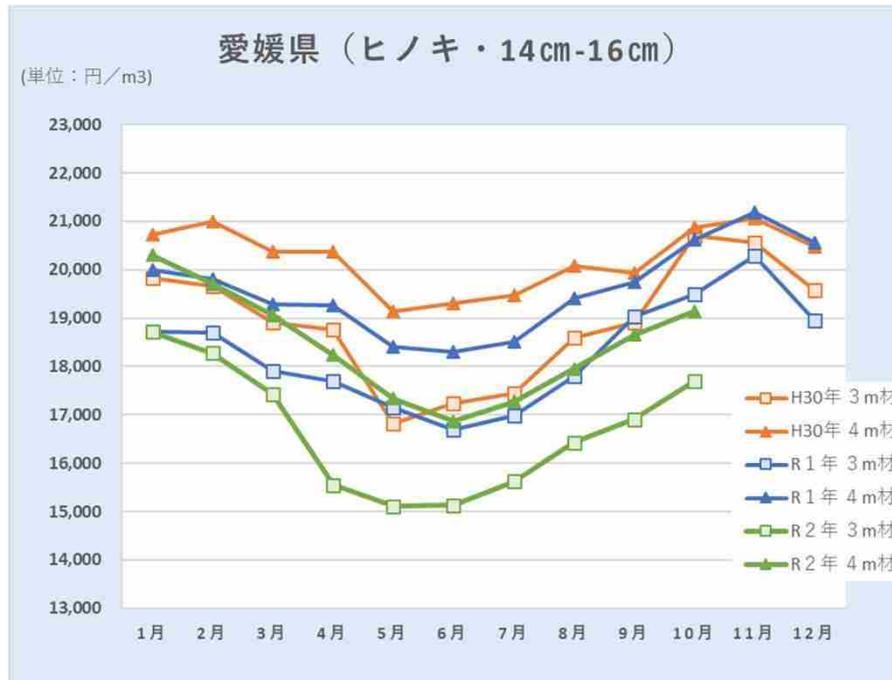
管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(3) 愛媛県内のヒノキ丸太価格の推移

- 例年7月頃からは季節的な需要の高まりから緩やかな上昇傾向
- 本年は4～5月に大幅な下落となったが、7月からは回復傾向にあり、例年と類似した傾向で推移
- 最近、柱適材を中心に3m、4m共に引き合いが良い
- 本年10月のヒノキ丸太価格は、対前年比7%から13%の下落

○10月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m3)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和1年	19,500	20,610	18,177	18,133
令和2年	17,702	19,139	15,767	16,167
対前年比	▲1,798	▲1,471	▲2,410	▲1,966
	91%	93%	87%	89%



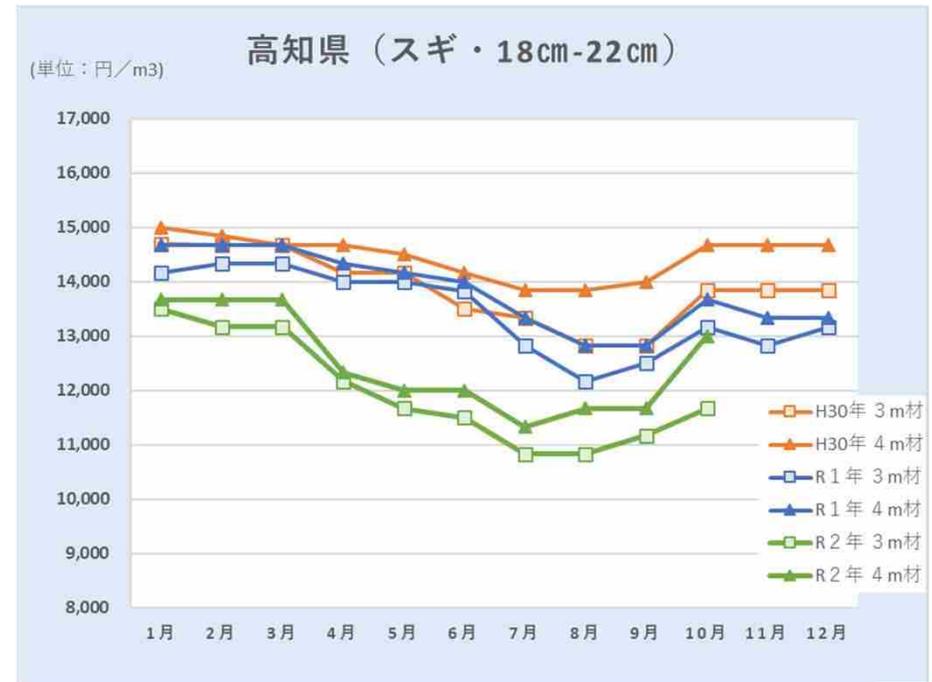
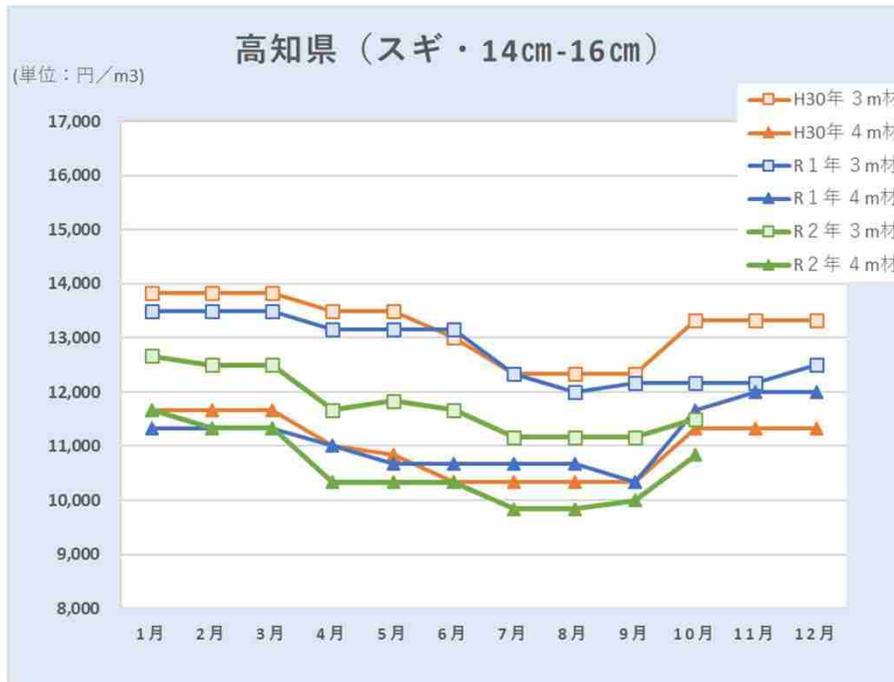
管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(4) 高知県内のスギ丸太価格の推移

- 例年、夏場は緩やかな下落が続くが、10月頃には回復傾向
- 本年は4月頃に大幅な下落となったが、8月頃からは回復傾向となり10月に大幅に上昇
- 最近では、原木需要の高まりも見られ引き合いが良い
- 本年10月のスギ丸太価格は、対前年比5%から11%の下落

○10月のスギ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和1年	12,167	11,667	13,167	13,667
令和2年	11,500	10,833	11,667	13,000
対前年比	▲667	▲834	▲1,500	▲667
	95%	93%	89%	95%



管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(5) 高知県内のヒノキ丸太価格の推移

- ▶ 例年10月頃には季節的な需要の高まりから一気に回復する傾向
- ▶ 本年は4月から大幅な下落となったが、8月頃からは回復傾向となり10月には大幅に上昇
- ▶ 最近は、県外からの引き合いも強く、原木の品薄感が強い
- ▶ 本年10月のヒノキ丸太価格は、対前年比5%から14%の下落

○10月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m³)

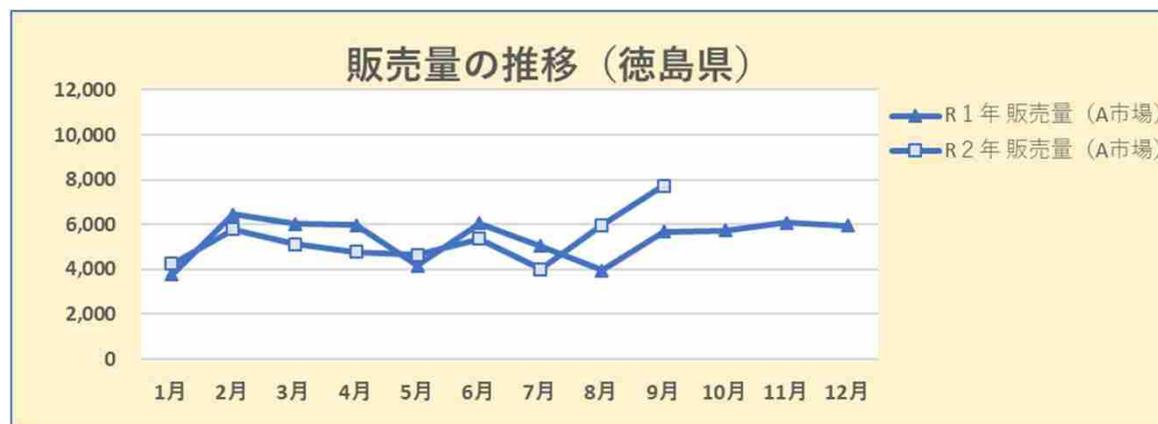
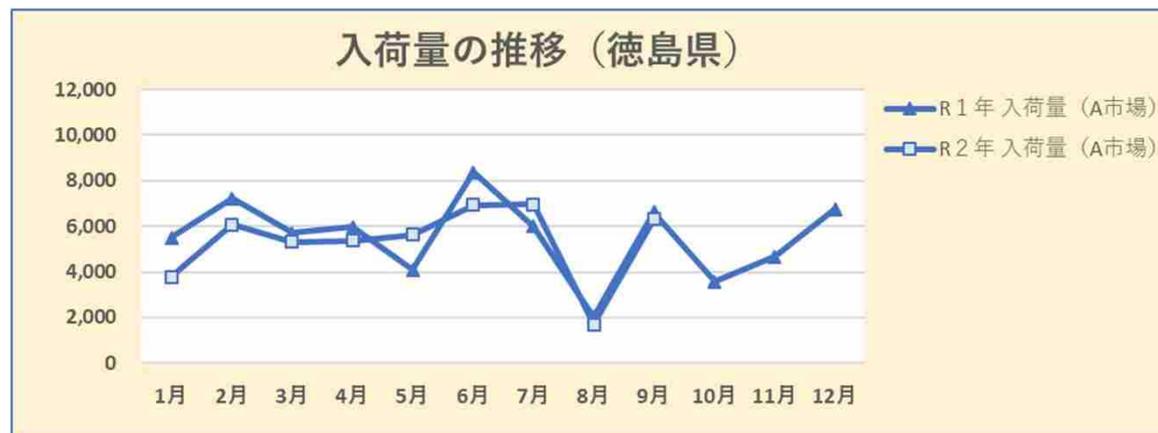
	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和1年	19,500	19,833	18,033	18,167
令和2年	17,500	18,833	15,500	16,833
対前年比	▲2,000	▲1,000	▲2,533	▲1,334
	90%	95%	86%	93%



管内における主な原木市場・共販所の状況

2-(1) 徳島県内の丸太取扱量の推移

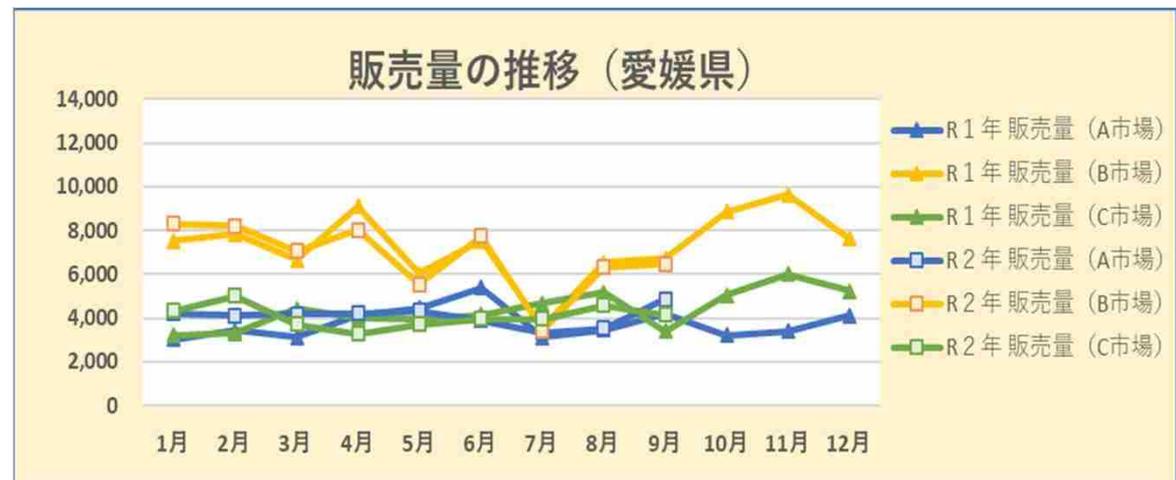
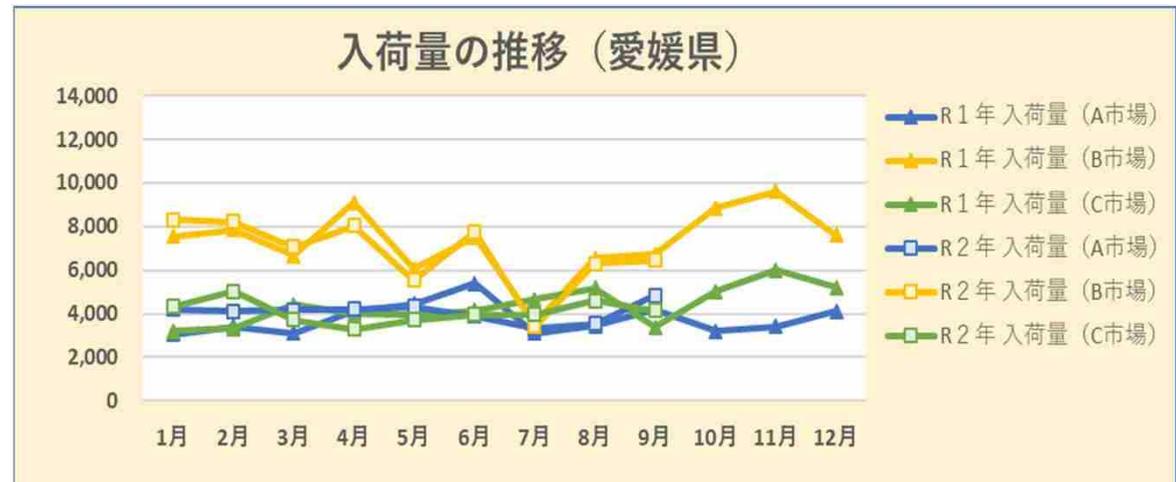
- 入荷量は、前年に比べ民材は少ないが、県有林や自社有林の素材生産は増えており、丸太不足はない
- 販売量は、梅雨期までは丸太需要の減に伴い減少したが、8月以降は増加傾向
- また、4月頃から原木市場には在庫が増えはじめ、ダブ付き感が見られたが、現在は市ごとに大半が売れており、製材の引き取りも安定



1 管内における主な原木市場・共販所の状況

2-(2) 愛媛県内の丸太取扱量の推移

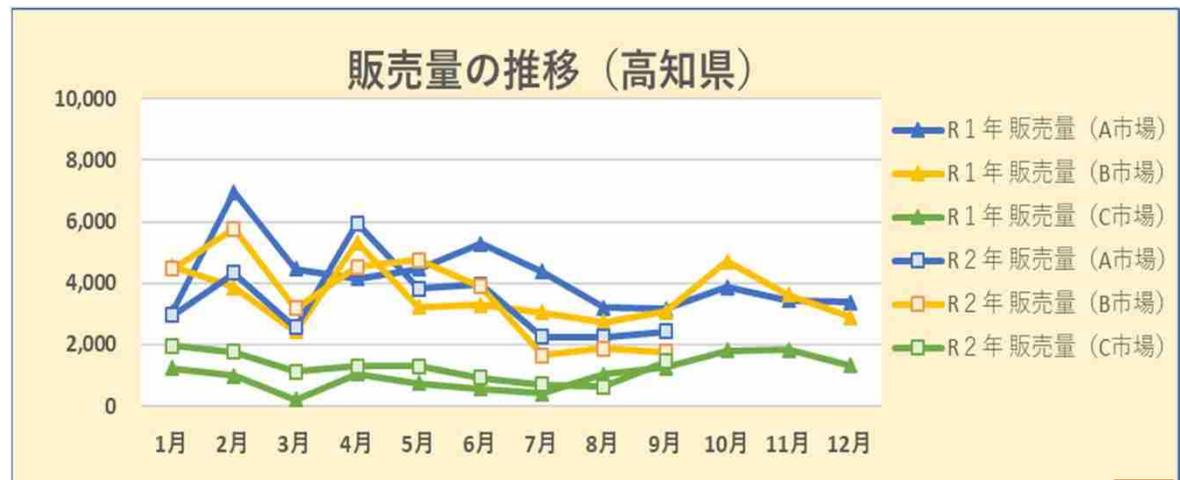
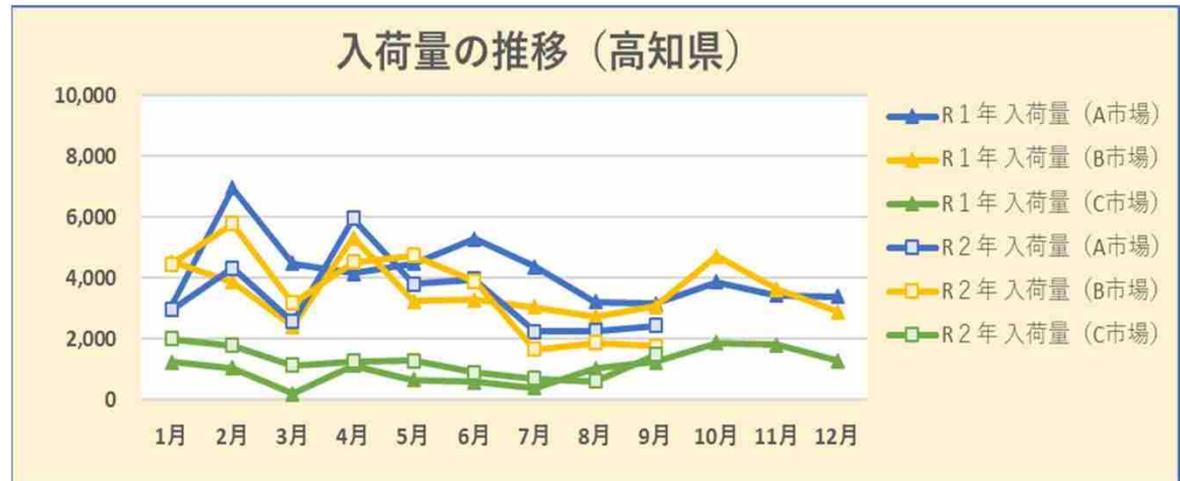
- 取扱量は概ね前年並みで推移
- 現在、農繁期や施業地の切替えで出荷が減少しているため、入荷量は少ない（A市場）
- 民材の出材が依然として少ないが、天候も良くなり今後は増加すると予想（C市場）
- スギ・ヒノキともに、4 m材を中心に買方の引き合いは良い
- 市売後の製材各社の引き取りも良好（C市場）



Ⅰ 管内における主な原木市場・共販所の状況

2-(3) 高知県内の丸太取扱量の推移

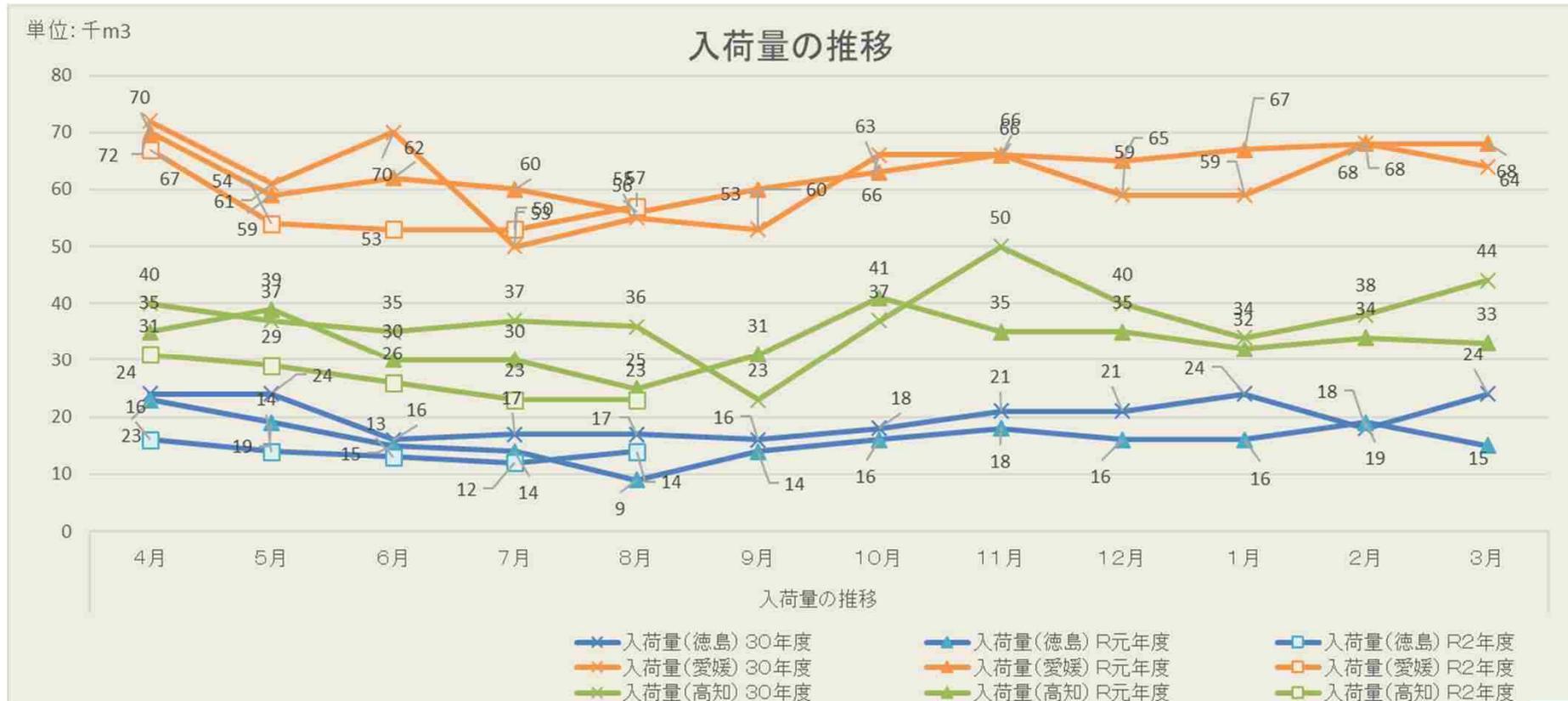
- 取扱量は概ね前年並みで推移
- 7月の長雨を期に民材の出材が大幅に減少、現在も少ない状態が続く（A・B市場）
- 夏場は入荷が少なかったが、秋口に入り増加傾向にある（C市場）
- 買方の引き合いは良くなっており、製材各社の引き取りも良好（各市場）



II 管内における製材用素材の状況

1 県別の製材用素材入荷量の推移（平成30年度～令和2年度）

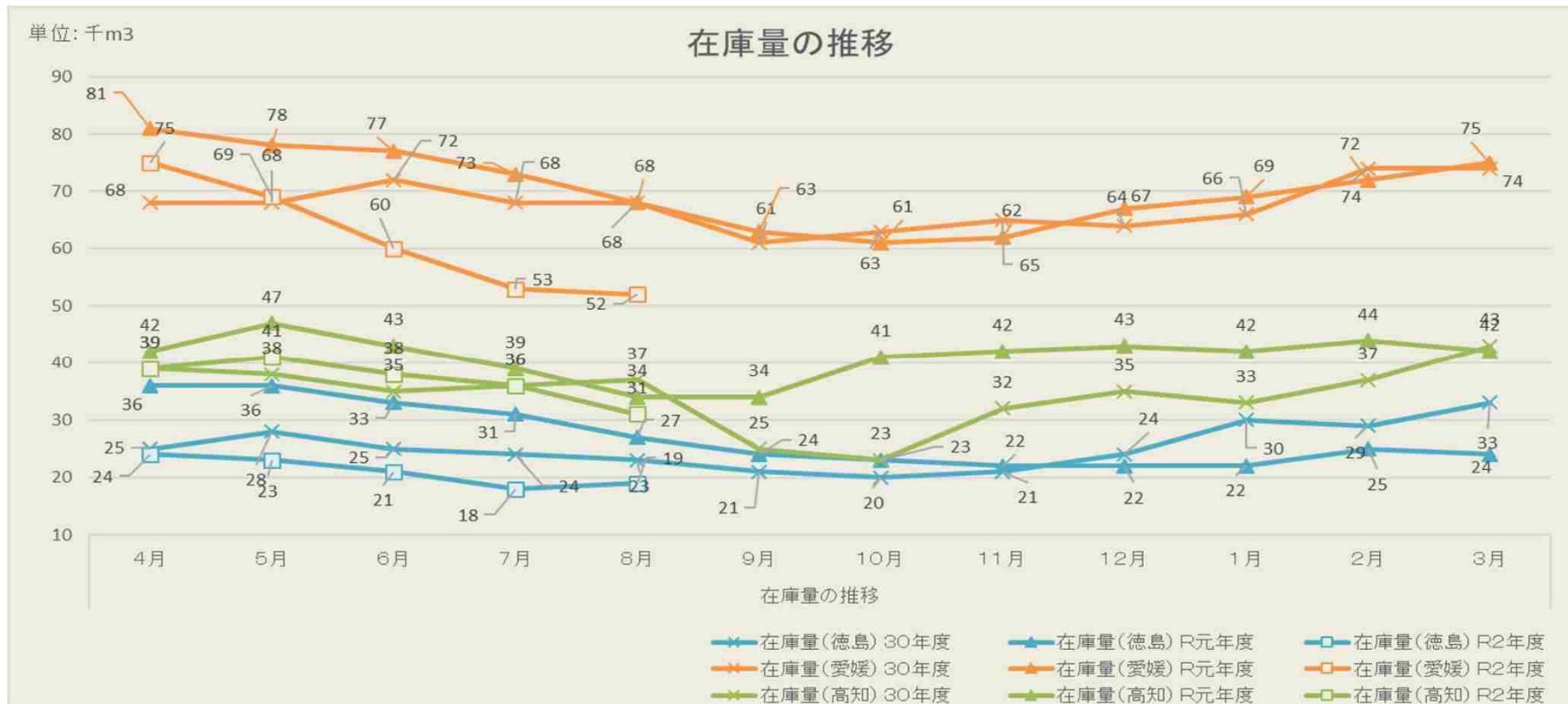
- コロナ渦による製材各社の丸太買い控え等から、入荷量は昨年に比べ1～2割程度減少
- 現在、丸太の在庫が少なくなっており、今後は入荷量の増加が考えられる。



II 管内における製材用素材の状況

2 県別の製材用素材在庫量の推移（平成30年度～令和2年度）

- 各県共に昨年に比べ減少傾向（コロナ渦の影響が先行き見通せない中、製材各社が丸太入荷を抑えていたことから、例年以上に在庫原木が減少したと考えられる）
- 特に、愛媛県の在庫減少は顕著



Ⅲ 全国の丸太価格の動向

1 価格の動向 (1) 直近の価格推移 (原木市場・共販所)

スギ φ24cm程度、3.65~4.0m (平成30年12月~)

- ・ 例年12月から梅雨時期まで原木価格は下落する傾向にあるが、本年は下落幅が大きくやや急となっている。
- ・ 本年9月のスギ原木価格は、**対前年比0~14%減**。
- ・ 6月下旬から、栃木県、熊本県、宮崎県では価格が回復傾向。

原木市場・共販所における木材価格の推移



	R1.9	R2.9	R2.9/R1.9
北海道	11,200	10,700	-4%
秋田県	13,200	12,150	-8%
栃木県	13,290	13,330	0%
長野県	11,500	10,000	-13%
岡山県	11,000	9,500	-14%
高知県	13,000	12,500	-4%
熊本県	14,600	14,000	-4%
宮崎県	13,900	12,700	-9%

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。径級は24.0cm程度、長さは3.65~4mの中目原木。

注2：都道府県が選定した特定原木価格・共販所の価格。

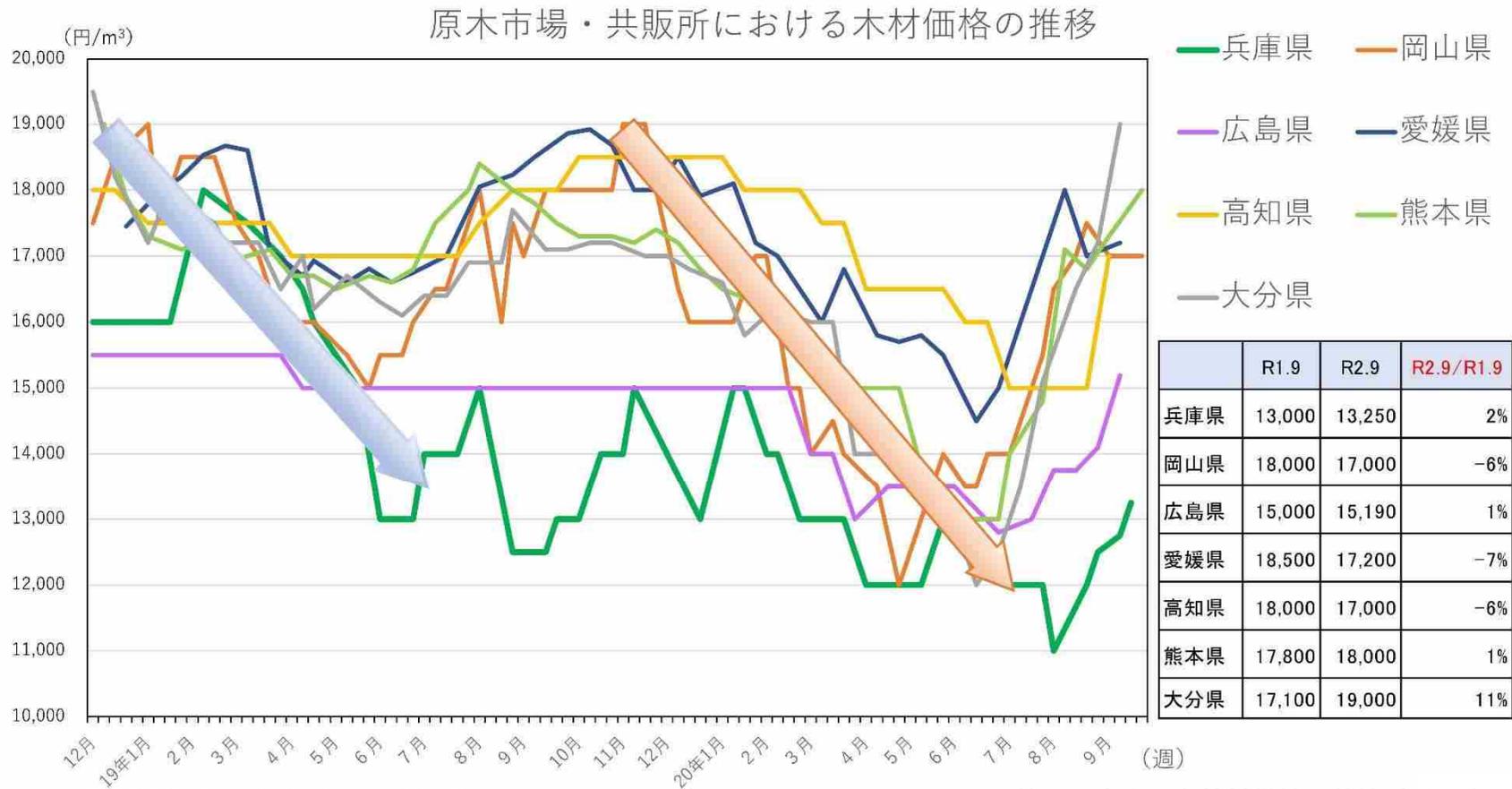
資料：林野庁木材産業課調べ

資料：林野庁「第2回中央国有林材供給調整検討委員会」

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ヒノキ φ24cm程度、3.65~4.0m (平成30年12月~)

- ・ヒノキにおいてもスギと同様に例年以上の下落幅となっている（兵庫県を除く）。
- ・本年9月末のヒノキ原木価格は、**対前年比7%減~11%増**。
- ・本年7月以降、岡山県、愛媛県、熊本県、大分県では価格が回復傾向。



注：都道府県が選定した特定の原木価格・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

資料：林野庁「第2回中央国有林材供給調整検討委員会」

Ⅳ 国産材丸太の需給見通し（入荷量等の概要）

➤ 令和3年第1四半期（1～3月）の需給は、概ね令和2年第4四半期より増加する見通し

第1回木材需給会議（6月29日）の見通し

（単位：千m3）

年	四半期	区分	国産材		
			製材用	合板用	計
令和元年 (平成31年)	1-3月	実績	3,372 107.3%	1,181 110.7%	4,553 108.1%
	4-6月	実績	3,366 103.1%	1,256 108.4%	4,622 104.5%
	7-9月	実績	3,046 103.9%	1,190 111.5%	4,236 106.0%
	10-12月	実績	3,324 99.1%	1,212 102.5%	4,536 100.0%
	年計			13,108 103.3%	4,839 108.1%
令和2年	1-3月	実績	3,222 95.6%	1,217 103.0%	4,439 97.5%
	4-6月	見込み	2,600 77.2%	1,100 87.6%	3,700 80.1%
	7-9月	見通し	2,700 88.6%	1,100 92.4%	3,800 89.7%
	10-12月	見通し	2,700 81.2%	1,180 97.4%	3,880 85.5%
	年計			11,222 85.6%	4,597 95.0%

注) 下段は、前年比又は前年同期比

第2回木材需給会議（9月28日）の見通し

（単位：千m3）

年	四半期	区分	国産材		
			製材用	合板用	計
令和元年 (平成31年)	1-3月	実績	3,372 107.3%	1,181 110.7%	4,553 108.1%
	4-6月	実績	3,366 103.1%	1,256 108.4%	4,622 104.5%
	7-9月	実績	3,046 103.9%	1,190 111.5%	4,236 106.0%
	10-12月	実績	3,324 99.1%	1,212 102.5%	4,536 100.0%
	年計			13,108 103.3%	4,839 108.1%
令和2年	1-3月	実績	3,222 95.6%	1,217 103.0%	4,439 97.5%
	4-6月	実績	2,861 85.0%	1,027 81.8%	3,888 84.1%
	7-9月	見込み	2,900 95.2%	960 80.7%	3,860 91.1%
	10-12月	見通し	2,900 87.2%	980 80.9%	3,880 85.5%
	年計			11,883 90.7%	4,184 86.5%
令和3年	1-3月	見通し	3,000 93.1%	1,000 82.2%	4,000 90.1%

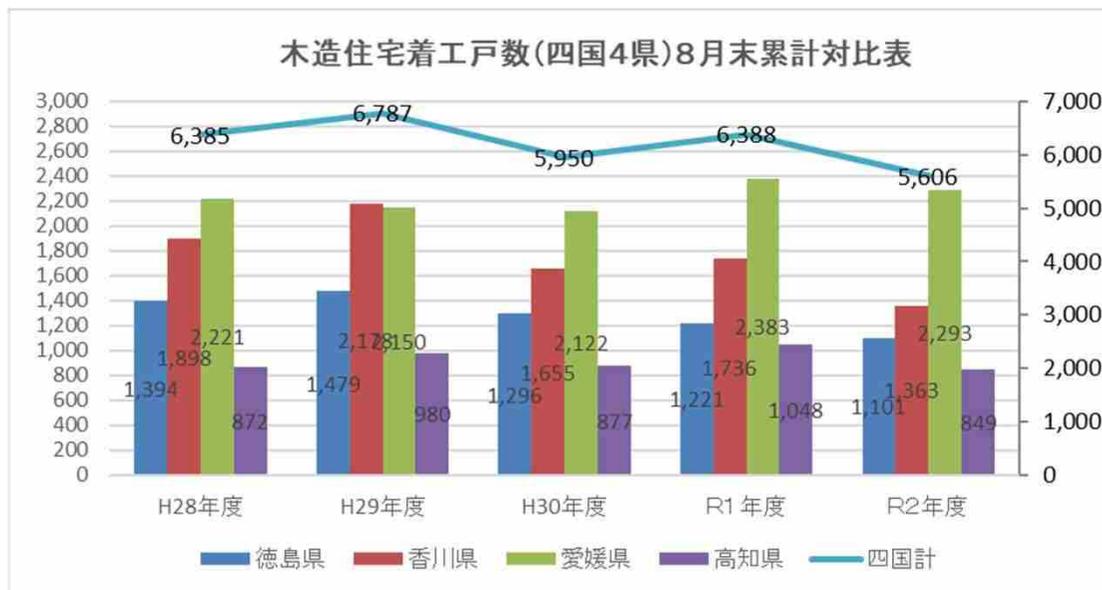
出典：林野庁「令和2年度木材需給会議」による。

V 新設住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（R2年8月末）

県	年度	4月			5月			6月			7月			8月					
		4月	5月	累計	6月	累計	7月	累計	8月	累計	4月	5月	累計	6月	累計	7月	累計		
徳島	H28	184	375	559	289	848	275	1,123	271	1,394									
	H29	288	299	587	327	914	273	1,187	292	1,479									
	H30	223	293	516	257	773	258	1,031	265	1,296									
	R1	276	259	535	260	795	253	1,048	173	1,221									
	R2	234	163	397	256	653	266	919	182	1,101									
	R2/H28	127%	43%	71%	89%	77%	97%	82%	67%	79%									
	R2/R1	85%	63%	74%	98%	82%	105%	88%	105%	90%									
香川	H28	288	350	638	370	1,008	412	1,420	478	1,898									
	H29	393	564	957	398	1,355	353	1,708	470	2,178									
	H30	342	281	623	292	915	376	1,291	364	1,655									
	R1	379	275	654	489	1,143	335	1,478	258	1,736									
	R2	276	245	521	245	766	328	1,094	269	1,363									
	R2/H28	96%	70%	82%	66%	76%	80%	77%	56%	72%									
	R2/R1	73%	89%	80%	50%	67%	98%	74%	104%	79%									
愛媛	H28	315	475	790	545	1,335	387	1,722	499	2,221									
	H29	442	308	750	596	1,346	347	1,693	457	2,150									
	H30	408	480	888	438	1,326	423	1,749	373	2,122									
	R1	536	419	955	463	1,418	441	1,859	524	2,383									
	R2	376	355	731	557	1,288	481	1,769	524	2,293									
	R2/H28	119%	75%	93%	102%	96%	124%	103%	105%	103%									
	R2/R1	70%	85%	77%	120%	91%	109%	95%	100%	96%									
高知	H28	131	150	281	190	471	166	637	235	872									
	H29	241	133	374	247	621	167	788	192	980									
	H30	142	156	298	207	505	212	717	160	877									
	R1	176	165	341	267	608	229	837	211	1,048									
	R2	163	143	306	182	488	166	654	195	849									
	R2/H28	124%	95%	109%	96%	104%	100%	103%	83%	97%									
	R2/R1	93%	87%	90%	68%	80%	72%	78%	92%	81%									
四国計	H28	918	1,350	2,268	1,394	3,662	1,240	4,902	1,483	6,385									
	H29	1,364	1,304	2,668	1,568	4,236	1,140	5,376	1,411	6,787									
	H30	1,115	1,210	2,325	1,194	3,519	1,269	4,788	1,162	5,950									
	R1	1,367	1,118	2,485	1,479	3,964	1,258	5,222	1,166	6,388									
	R2	1,049	906	1,955	1,240	3,195	1,241	4,436	1,170	5,606									
	R2/H28	114%	67%	86%	89%	87%	100%	90%	79%	88%									
	R2/R1	77%	81%	79%	84%	81%	99%	85%	100%	88%									
全国	H28	31,583	42,794	74,377	47,502	121,879	48,693	170,572	48,717	219,289									
	H29	45,205	44,761	89,966	47,786	137,752	47,685	185,437	46,912	232,349									
	H30	45,213	43,399	88,612	46,283	134,895	46,932	181,827	47,010	228,837									
	R1	45,179	42,218	87,397	48,071	135,468	46,344	181,812	43,663	225,475									
	R2	38,840	35,632	74,472	41,218	115,690	40,450	156,140	38,410	194,550									
	R2/H28	123%	83%	100%	87%	95%	83%	92%	79%	89%									
	R2/R1	86%	84%	85%	86%	85%	87%	86%	88%	86%									

- 令和2年8月期の木造住宅着工戸数は、四国全体で1,170戸、前年同月（1,166戸）に比べ100%
- 徳島県、香川県で増加したものの、愛媛県は増減なし、高知県では減少
- 8月末累計では、四国全体で5,606戸、前年同月末累計（6,388戸）に比べ88%（全国では86%）



出典：国土交通省「建築動態統計」

V 新設住宅着工戸数

2 新設住宅着工戸数2020年度・2021年度の見通し【2020年4-6月期GDP 1次速報後】

林野庁「令和2年度第2回木材需給会議」資料抜粋

内閣府(8/17公表)による2020年4-6月期GDP1次速報を踏まえた各機関の新設住宅着工戸数の見通し
 新設住宅着工戸数【10機関の平均値】 2020年度 78万4千戸 2021年度 80万2千戸

2020年8月28日現在 機関名 (全10機関)	発表日	新設住宅着工戸数(万戸) ※四半期、半期は季節調整済み年率換算値									
		2020年度					2021年度				
		4~6月 (実績)	7~9月 (予測)	10~12月 (予測)	1~3月 (予測)	合計 (予測)	4~6月 (予測)	7~9月 (予測)	10~12月 (予測)	1~3月 (予測)	合計 (予測)
三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所	8/17	-	-	-	-	81.0	-	-	-	-	84.6
ニッセイ基礎研究所	8/18	79.8	78.3	80.3	81.2	79.9	81.6	81.4	81.4	81.6	81.5
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	8/19	79.8	79.0	80.0	81.1	79.7	82.2	83.3	84.1	84.8	83.6
浜銀総合研究所	8/20	上半期	78.4	下半期	80.8	79.6	上半期	82.3	下半期	83.0	82.6
アジア太平洋研究所	8/28	-	-	-	-	79.1	-	-	-	-	80.1
三井住友信託銀行	8/25	上半期	80.5	下半期	78.4	79.1	上半期	76.9	下半期	75.3	75.5
東レ経営研究所	8/18	-	-	-	-	78.4	-	-	-	-	81.1
富国生命保険相互会社	8/20	上半期	77.6	下半期	76.8	77.2	上半期	78.5	下半期	80.5	79.5
みずほ総合研究所	8/18	79.8	75.6	75.4	75.0	76.1	76.0	76.5	77.3	77.5	76.4
農林中金総合研究所	8/20	上半期	77.4	下半期	70.0	73.7	上半期	75.0	下半期	80.0	77.5
平均		79.8	77.6	78.6	79.1	78.4	79.9	80.4	80.9	81.3	80.2
最大		79.8	79.0	80.3	81.2	81.0	82.2	83.3	84.1	84.8	84.6
最小		79.8	75.6	75.4	75.0	73.7	76.0	76.5	77.3	77.5	75.5

(参考)利用関係別戸数の見通し

2020年8月28日現在 機関名 (全1機関)	発表日	新設住宅着工戸数(万戸)									
		2020年度					2021年度				
		持家 (予測)	貸家 (予測)	給与住宅 (予測)	分譲住宅 (予測)	合計 (予測)	持家 (予測)	貸家 (予測)	給与住宅 (予測)	分譲住宅 (予測)	合計 (予測)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	8/19	25.3	29.8	0.6	24.0	79.7	26.7	31.2	0.7	25.0	83.6

(注) 給与住宅は、当機構において合計から持家、貸家、分譲住宅を差し引いて算出。

(参考)財団法人建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し」から

(参考)社団法人住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」から

機関名	発表日	2020年度 (予測)					2021年度 (予測)				
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	合計	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	合計
建設経済研究所(注1)	7/30	25.35	28.80	0.52	24.65	79.32	27.20	29.50	0.52	25.30	82.52
住宅生産団体連合会(注2)	8/4	24.5	29.6	0.6	23.0	77.7	-	-	-	-	-

(注1) 2020年1-3月期の四半期別国民所得統計速報(1次速報)を踏まえた予測。

(注2) 会員のうち回答があった15社の予測平均値。

(参考)新設住宅着工戸数 実績 四半期は季節調整済み年率換算値(戸)

	年度計	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2020年度	883,687	797,932			
2019年度	925,072	906,320	865,052	863,116	
2018年度	952,936	965,580	950,020	954,988	942,268

	年度計	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	うち一戸建	うちマンション
2019年度	883,687	283,338	334,509	6,108	259,732	146,154	111,615
2018年度	952,936	287,710	390,093	7,958	267,175	144,905	119,683
2017年度	946,396	282,111	410,355	5,435	248,495	137,849	108,278

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の**前月比**における逸脱の有無

調査月 令和2年6月～令和2年9月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(イ) 木材価格の**前月比**における下落(上昇)の継続

調査月 令和2年6月～令和2年9月

- 【スギ中丸太】 ・5ヶ月未満である。
- 【ヒノキ中丸太】 ・5ヶ月未満である。

(ウ) 木材価格の**前年度同月比**における逸脱の有無

調査月 令和2年6月～令和2年9月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(エ) 木材価格の**2ヶ年平均価格比**における逸脱の有無

調査月 令和2年6月～令和2年9月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(オ) 製材用素材の**在庫率**における逸脱の有無

調査月 令和2年5月～令和2年8月

- 【徳島県・愛媛県】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【愛媛県・高知県】 ・8月に下限値を僅かに逸脱した動きが見られた。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 過去10年間の月別データを基に、平均と標準偏差から95%の信頼区間を算出し、その区間を逸脱するか否かを確認
- 使用データは、農林水産省の「木材価格」・「製材統計」を使用

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.47%				逸脱下限値 -5.53%				逸脱上限値 19.48%				逸脱下限値 -19.44%				逸脱上限値 16.02%				逸脱下限値 -16.67%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月				
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	0.46%	-2.23%	-1.25%	0.77%	1	-1	-2	1	-4.45%	-7.24%	-7.84%	-5.90%	-7.41%	-9.78%	-9.60%	-7.41%								

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 7.06%				逸脱下限値 -7.51%				逸脱上限値 20.67%				逸脱下限値 -25.67%				逸脱上限値 17.72%				逸脱下限値 -23.84%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月				
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-1.44%	-0.60%	-1.50%	2.33%	-5	-6	-7	1	-5.92%	-7.70%	-5.73%	-2.06%	-10.65%	-11.75%	-9.89%	-5.51%								

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値	逸脱下限値
	5月	6月	7月	8月		
製材用素材(徳島・愛媛)	1.16	1.02	0.90	0.92	1.90	0.83
製材用素材(愛媛・高知)	1.14	1.02	0.95	<u>0.91</u>	1.57	0.92

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。